

令和5年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	地理歴史・地理探究	単位数	2単位	2年・普通科（理系）
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院）	副教材等	新編地理資料2022（とうほう） 白地図作業帳（とうほう） サクシード地理（啓隆社）	

1 学習の到達目標

学習の到達目標	世界の空間的な諸事象の規則性や傾向性、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、議論したりできる。 社会で見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。
---------	--

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	第1部 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境 序説 地球環境と人間 1節 地形 2節 気候 3節 日本の自然環境 4節 地球環境問題	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	定期考査  ワークシート	定期考査  ワークシート  観察	ワークシート  振り返りシート
第2学期	第1部 現代世界の系統地理的考察	第2部 資源と産業 1節 農林水産業 2節 食料問題 3節 エネルギー・鉱山資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 工業 6節 第3次産業	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	定期考査  ワークシート	定期考査  ワークシート  観察	ワークシート  振り返りシート
第3学期	第1部 現代世界の系統地理的考察	第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏	1 ・ 2 ・ 3	定期考査  ワークシート	定期考査  ワークシート  観察	ワークシート  振り返りシート

令和5年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	地理歴史・日本史探究	単位数	2単位	2年・普通科（文系）
使用教科書	高校日本史（山川出版社）	副教材等	新日本史研究ノート標準編（啓隆社） 新詳日本史（浜島書店）	

1 学習の到達目標

学習の到達目標	我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察できる。 各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を身に付ける。
---------	--

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	第I部 原始・古代 第1章～第3章	第1章 日本文化のあけぼの ・日本文化の始まり ・農耕の開始  第2章 古墳とヤマト政権 ・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷  第3章 律令国家の形成 ・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	定期考査  ワークシート	定期考査  ワークシート	章末課題  振り返りシート
第2学期	第I部 原始・古代 第3章～第4章  第II部 中世 第5章～第6章	第3章 律令国家の形成 ・律令国家の変容  第4章 貴族政治の展開 ・摂関政治 ・国風文化 ・荘園の発達と武士団の成長  第5章 院政と武士の進出 ・院政の始まり ・院政と平氏政権  第6章 武家政権の成立 ・鎌倉幕府の成立と展開	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	定期考査  ワークシート	定期考査  ワークシート	章末課題  振り返りシート
第3学期	第II部 中世 第6章～第7章	第6章 武家政権の成立 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化  第7章 武家社会の成長 ・室町幕府の成立 ・下剋上の社会 ・室町文化	1 ・ 2 ・ 3	定期考査  ワークシート	定期考査  ワークシート	章末課題  振り返りシート

令和5年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	地理歴史・世界史探究	単位数	2単位	2年 普通科(文系)
使用教科書	高校世界史(山川出版社)	副教材等	明解世界史図説エスカリエ(帝国書院) 新世界史研究ノート標準編(啓隆社)	

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。</li> <li>・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。</li> <li>・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</li> </ul>
---------	--

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	第I部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明的特質	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文明の誕生</li> <li>2 古代オリエント文明とその周辺</li> <li>3 南アジアの古代文明</li> <li>4 中国の古代文明</li> <li>5 南北アメリカ文明</li> </ol>	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	定期考査	定期考査	振り返りシート
	第2章 中央ユーラシアと東アジアの世界	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中央ユーラシア</li> <li>2 秦・漢帝国</li> <li>3 北方民族の活動と中国の分裂</li> <li>4 東アジア文明圏の形成</li> </ol>		ワークシート	ワークシート	ワークシート
	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 仏教の成立と南アジアの統一国家</li> <li>2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着</li> <li>3 東南アジア世界の形成と展開</li> </ol>				
	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 イラン諸国家の興亡とイラン文明</li> <li>2 ギリシア世界</li> <li>3 ローマと地中海支配</li> <li>4 キリスト教の成立と発展</li> </ol>				
第2学期	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 アラブの大征服とカリフ政権の成立</li> <li>2 ヨーロッパ世界の形成</li> </ol>	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	定期考査	定期考査	振り返りシート
	第II部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 イスラーム教の諸地域の伝播</li> <li>2 西アジアの動向</li> </ol>		ワークシート	ワークシート	ワークシート
	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 西ヨーロッパの封建社会</li> <li>2 東ヨーロッパ世界</li> <li>3 西ヨーロッパ世界の変容</li> <li>4 中世文化</li> </ol>				
	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 宋とアジア諸地域の自立化</li> <li>2 モンゴルの大帝国</li> </ol>				
第3学期	第9章 大交易・大交流時代	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 アジア交易世界の興隆</li> <li>2 ヨーロッパの海洋進出、アメリカ大陸の発見</li> </ol>				
	第10章 アジアの諸帝国と繁栄	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オスマン帝国とサファヴィー朝</li> <li>2 ムガル帝国の興隆</li> <li>3 清代の中国と隣接諸地域</li> </ol>	1 ・ 2 ・ 3	定期考査	定期考査	振り返りシート
第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ルネサンス</li> <li>2 宗教改革</li> <li>3 主権国家体制の成立</li> <li>4 オランダ・イギリス・フランスの台頭</li> <li>5 北欧・東欧の動向</li> <li>6 科学革命と啓蒙思想</li> </ol>	ワークシート		ワークシート	ワークシート	

令和5年度 指導と評価の年間計画

富山県立雄山高等学校

教科・科目名	公民・公共	単位数	2単位	2年 普通科・生活文化科
使用教科書	新版 公共（数研出版）	副教材等		クローズアップ公共（第一学習社） 新版公共整理ノート（数研出版）

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける世にする。</li> <li>・現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合う</li> </ul>
---------	--

2 学習計画と評価計画

学期	単元	学習内容	月	評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
第1学期	第1章 公共的な空間をつくる私たち	1 青年期の意義と課題 2 自我の確立と自己形成 第2節 人間としての自覚 1 生きることと考えること 2 世界の宗教 第3節 日本人としての自覚 1 日本の思想 2 日本の文化と西洋思想の受容	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	小テスト ワークシート
	第2章 公共的空間における人間としてのありかた生き方	1 近代科学の考え方 2 人間の尊厳と幸福 第1節 西洋近現代の思想 1 地球環境をめぐる問題 2 資源・エネルギーをめぐる問題 第2節 現代の諸課題と倫理		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	小テスト ワークシート
第2学期	第3章 公共的な空間における基本原理	1 民主政治の始まりと基本的人権 2 権力分立と法の支配 3 個人と社会のかかわり 第1節 民主社会の基本原則 1 日本国憲法と基本原理 2 平等権・自由権 3 社会権・参政権・請求権 4 新しい人権・人権の国際的広がり 第2節 日本社会の基本原則	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	小テスト ワークシート
	第4章 現代の民主政治と政治参加の意義	1 国会の仕組みと役割 2 内閣の仕組みと役割 3 日本の裁判制度と人権保障 第1節 日本の政治機構 1 選挙と選挙制度 2 政党の役割 3 地方自治の現状と課題 4 世論の形成と現代民主政治の課題 第2節 政治参加と民主政治の課題		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	小テスト ワークシート
第3学期	第5章 現代の経済社会と経済活動のあり方	1 経済生活のしくみ 2 企業の働きと役割 3 市場経済のしくみ 第1節 経済のしくみと市場機構 1 国民所得と経済成長 2 財政の役割 3 金融の役割 4 日本銀行と金融政策 第2節 財政と金融 1 日本経済のあゆみ 2 産業構造の変化と職業 3 中小企業と農業 第3節 日本経済の発展と変化 1 経済社会とルール 2 消費者問題 3 公害対策と環境保全 4 労働者の権利 5 現代の労働問題 6 少子高齢社会における社会保障 第4節 豊かな生活と福祉の実現	1 ・ 2 ・ 3	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	小テスト ワークシート
	第6章 国際社会の動向と日本の役割	1 国際社会と国際法 2 国際連合の成立と組織 3 国際連合の役割と課題 4 戦後の国際情勢 第1節 国際政治の動向 1 日本の安全保障と日米安保体制 2 軍縮への動き 3 現代の紛争 4 世界の人権問題と日本 第2節 国際政治の課題と日本の役割 1 国際経済のしくみ 2 戦後の刻再経済・国際貿易体制 3 経済のグローバル化と現代の国際経済 4 地域経済統合 5 南北問題とその課題 第3節 国際経済の動向と国際協力		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	小テスト ワークシート